

令和7年（2025年）11月1日発行

インドの大学生が学内外で研修

体験授業、企業訪問、社会見学など
6日間のプログラムを実施

本学が科学技術振興機構の国際交流事業「さくらサイエンスプログラム」に採択され、同プログラムにより9月22日から6日間、日本語を学ぶM・クマラサミエ工科大

学（インド）の大学生7名が本学で研修を行った。初日、学生たちは柳澤章理事長、竹内貞雄学長を表敬訪問した後、キャンパス内の主要施設を見学。工業技術博物館では

午前中に本学教員による授業を体験した。機械工学科の桑原拓也教授、ロボティクス学科の中里裕一教授から専門の研究内容の説明を受けた。講義は基本的に日本語で行われたが、学生たちは皆興味深く聞いていた。

午後には主に社会見学が行われ、本学付属の駒場高校訪問では、生徒たちと意見交換を行った。企業訪問では電機、化学メーカーに赴き、研究環境や働き方、外国人採用などについて説明を受けた。ほとんどの学生が日本での就職を希望しており、企業の担当者から直接話が聞けたことは有意義な機会となった。大型ショッピングセンターを訪問した際には8時間滞在し、買い物を楽しんだ。最終日には成果発表会が行われ、竹内学長から修了証書が授与された。



工業技術博物館で蒸気機関車などを見学



企業訪問で担当者と意見交換



柳澤理事長、竹内学長を表敬訪問

吉野秀明副学長（ディータサイエンス学科教授）と神雅彦英語学習サポートセンター長（機械工学科教授）は8月23日から4日間、タイのキングモンクトン工科大学トングリ校（KMUTT）の「学長対話及び教育フェア2025」に学長代理として出席した。本学は同校と1991年に提携し、相互訪問などの人的交流を続けている。

本イベントは同校創立65周年を記念して開催された。日本や台湾の提携校の代表者、各国大使館関係者などが参加した。24日、歓迎式が催され、同校学生によるタイ伝統舞踊などが披露された。ディナーではゲストとホ

ストが交互に着席し、食事を楽しみながら親睦を深める場となった。翌25日の午前中はインドネシア大統領府経済担当副長官など3名による基調講演が行われた。午後には同校と出席者代表により生涯学習をテーマにした学長円卓会議が催される。



（左より）吉野副学長、スウィット学長、神センター長

た。吉野副学長は日本における生涯学習推進のための政策の現状と今後の方策、本学における生涯学習センターの活動などについて報告した。

訪問を終えて吉野副学長は「重要協定校との関係強化を図ることができた。同校の教員や大学院生、本学からの留学生、本学卒業生との懇話も有意義であった。34年に及ぶ交流で培った信頼関係をあらためて実感できた」と感想を述べている。

埼玉りそな銀行から書籍寄贈

OBが活躍する企業の指定により
建築関連書籍を受領

埼玉りそな銀行が取り扱う「埼玉りそな寄贈品付CSR私募債」を利用したアイテック株式会社（東京都足立区）から指定を受け、同行を通じて建築学部に書籍が寄贈された。この私募債は発行企業から受け取る手数料の一部を活用し、同行が

次世代の育成に役立つ寄贈品を企業が指定する学校等に贈呈することによって、地域社会に貢献したい企業のニーズを支援する。今回寄贈された書籍は著名写真家による世界の建築物の写真集13巻セットである。建築学部のデジタルデザイン室に常設



（左より）木村社長、竹内学長、奥村支店長

を述べた。これに対し竹内学長は「卒業生の活躍が評価されたことで、本学を寄贈先として指定いただいたことが何よりも嬉しく、ありがとうございます」と謝辞を述べた。建築学部長の小川教授は寄贈書籍の選定理由を説明し、学生にとって貴重な資料になると強調した。

海外提携校と国際交流

タイを代表する国立工科大学の
創立記念イベントに出席

吉野秀明副学長（ディータサイエンス学科教授）と神雅彦英語学習サポートセンター長（機械工学科教授）は8月23日から4日間、タイのキングモンクトン工科大学トングリ校（KMUTT）の「学長対話及び教育フェア2025」に学長代理として出席した。本学は同校と1991年に提携し、相互訪問などの人的交流を続けている。



（左より）吉野副学長、スウィット学長、神センター長

た。吉野副学長は日本における生涯学習推進のための政策の現状と今後の方策、本学における生涯学習センターの活動などについて報告した。

訪問を終えて吉野副学長は「重要協定校との関係強化を図ることができた。同校の教員や大学院生、本学からの留学生、本学卒業生との懇話も有意義であった。34年に及ぶ交流で培った信頼関係をあらためて実感できた」と感想を述べている。

令和7年度高等学校DX加速化推進事業

DXハイスクール
支援プロジェクト専門学科教員によるDX関連科目の出前授業
「探究的な学び」「情報Ⅱ」の充実、教員向け研修

長年にわたり蓄積してきた高大連携教育に関する経験をDXハイスクール採択校の支援に活用。
将来のデジタル分野を支える人材育成に貢献します!!

詳細・お申込み



入試対策講座（一般選抜向け）

12月7日（日）

出題傾向を把握し、筆記試験に向けて万全の対策を！実際に来学して入試本番前の最終チェックをしよう！

詳細・お申込み



まだまだ間に合う年内合格！2026年度入試日程

【基幹工学部】機械工学科・電気情報工学科・環境生命化学科
【建築学部】建築学科（建築コース／生活環境デザインコース）
【先進工学部】ロボティクス学科・情報メディア工学科・データサイエンス学科

入試種別	出願期間	試験日と試験会場	合格発表日	入試種別	出願期間	試験日と試験会場	合格発表日
総合型選抜（基礎学力型）	10/4(土)～11/10(月)	11/15(土) 本学	12/1(月)	学校推薦型選抜（指定校）	11/1(土)～11/10(月) web受付開始 10/24(金)	11/16(日) 本学	12/1(月)
総合型選抜（体験講義型）第2期	11/11(火)～12/10(水)	12/13(土) 本学	12/19(金)	学校推薦型選抜（公募制）第1期	11/1(土)～11/10(月) web受付開始 10/24(金)	11/15(土) 本学	12/1(月)
総合型選抜（活動アピール型）第2期	12/11(木)～1/20(火)	1/31(土) 本学	2/6(金)	学校推薦型選抜（公募制）第2期	11/11(火)～12/10(水)	12/13(土) 本学	12/19(金)
外国人留学生入試（単願）第2期	12/11(木)～1/20(火)	1/31(土) 本学	2/6(金)	外国人留学生入試（併願）第3期	12/11(木)～1/20(火)	1/31(土) 本学	2/6(金)
				外国人留学生入試（併願）第4期	1/21(水)～2/26(木)	3/6(金) 本学	3/13(金)

※ 全ての入試において、インターネットからの出願です。
本学HPからアクセスしてください。
※ 各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」を確認してください。

【年明け入試のお知らせ】
一般選抜A・共通テスト利用A
WEB受付 12/11(木)よりスタート！
詳細は、受験生サイトよりご確認ください。



https://juken.nit.ac.jp/

お問い合わせ先
入試課 電話：0120-250-267

日本工業大学大学院
一般入学試験・社会人特別選抜◆大学院工学研究科
（博士前期課程・博士後期課程）

■2026年度 入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
二次募集	2026年1月30日～2月5日	2月12日	2月16日	3月6日

—— お問い合わせ先：教務部教務課 大学院入試係 ——
TEL 0480-33-7507 E-mail: kyomu@nit.ac.jp

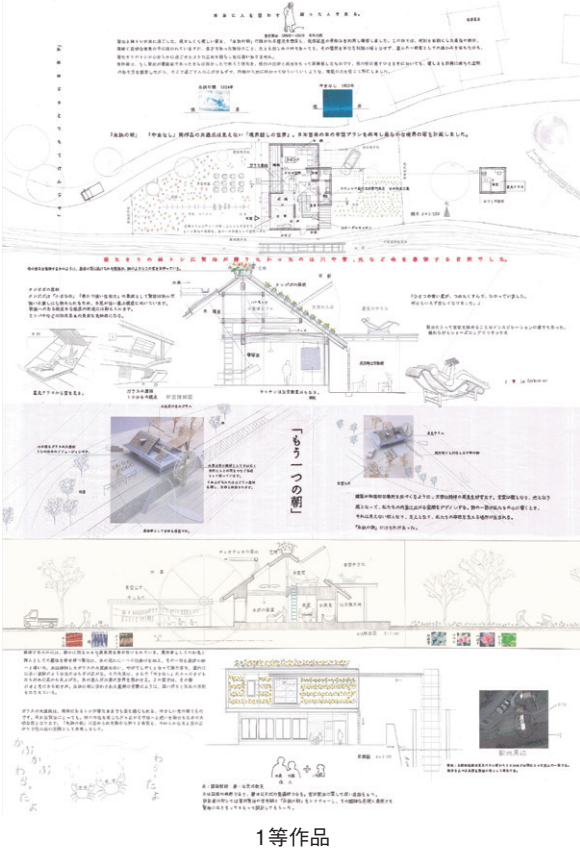
第39回日本工業大学建築設計競技

全国から40校80作品「宮沢賢治の物語の家」

【審査委員長の講評】

宮沢賢治の数ある物語のなかから好きな話を選び、そのなかに登場する家を考えて欲しいと思いました。建築設計は、様々な分野を横断して考え、それらを統合する作業なので、価値観を広げてくれる本を課題の出発点にしたいと考えたのです。応募作品は、図面表現、建築空間構成を通した賢治への理解が多く、その中でも、物語をモチーフにしながら、賢治の自然観、人生観を見つめ、それを等身大の自分自身に照らし合わせて作られた作品が評価されていたように思いました。たくさんの素晴らしい提案に出会えたことに感謝します。

藤野高志
(生物建築舎主宰/東北大学准教授)



1等作品

○印は共同作品の代表者

入賞者

審査結果	氏名	学校名
1等	○宮本 杏奈 山田 まい	広島市立広島工業高等学校
2等	中山 優月	長野県池田工業高等学校
3等	高田 望愛	神戸市立科学技術高等学校
審査員賞 (藤野高志)	紺野 驍	福島県立福島工業高等学校
審査員賞 (勝木祐仁)	伊藤 光希	愛知県立愛知総合工科高等学校
審査員賞 (吉村英孝)	西川 寧音	滋賀県立安曇川高等学校
佳作	○川合 陽太 鈴木 仁大	三重県立四日市工業高等学校
佳作	○眞弓 侑奈 豊田 美空	三重県立四日市工業高等学校
佳作	村岡 昊樹	群馬県立桐生工業高等学校
佳作	植田 智尋	岡山県立津山工業高等学校
佳作	○堀口 貴央 逢菜 真	神戸市立科学技術高等学校
佳作	吉村 朝葵	兵庫県立龍野北高等学校
佳作	佐藤 澄海	国立明石工業高等専門学校

審査結果	氏名	学校名
奨励賞	長友 咲結	埼玉県立熊谷工業高等学校
奨励賞	段代 弥優	宮城県工業高等学校
奨励賞	井上 聖	群馬県立桐生工業高等学校
奨励賞	卯尾 萌々花	福島県立勿来工業高等学校
奨励賞	黒柳 花妃	岡山県立津山工業高等学校
奨励賞	小山 千慧	東京都立蔵前工科高等学校
奨励賞	松目 亘史	栃木県立宇都宮工業高等学校
奨励賞	青木 小侍浪	栃木県立宇都宮工業高等学校
奨励賞	大島 一輝	栃木県立宇都宮工業高等学校
奨励賞	○芝田 葵翔 川中子 彩夏	栃木県立宇都宮工業高等学校
奨励賞	古野 結楽	富山県立高岡芸高等学校
奨励賞	○秋山 悠希 中村 龍希	静岡県立島田工業高等学校
奨励賞	大村 滯央	仙台市立仙台工業高等学校
奨励賞	岡本 あかね	岐阜県立岐南工業高等学校
奨励賞	山本 良太	北海道旭川工業高等学校
奨励賞	草場 都和	京都市立京都学院高等学校

NITプロダクトデザインコンテスト2025

高校生の創造力が集結



オリジナルアイデア部門優秀賞「UVチェッカーチャーム」



3Dプリンタ造形部門優秀賞「捻じれた球のオブジェ」

高校生を対象としたプロダクトデザインコンテストが開催され、個性あふれる96作品の応募があった。

オリジナルアイデア部門では「気分を上げるプロダクト」として、日常や特別な時、落ち込んだ時に気分を高めるプロダクトの提案を募集。3Dモデリング部門は「動く機構をもったプロダクト」をCADデータで、3Dプリンタ造形部門は「おもしろい形のオブジェ」を3Dプリンタによる造形物で募集した。自由部門には他の部門に当てはまらない自由な発想のプロダクトが集結。各部門で厳正な審査が行われた。

10月26日には本学で授賞式が行われ、受賞者に賞状と賞品が授与された。

審査結果

各賞	氏名	高校名
オリジナルアイデア部門（応募数24件）		
優秀賞	相田 紗葵	栃木県立足利工業高等学校
佳作	伊東 佑翔	愛媛県立新居浜工業高等学校
自由部門（応募数39件）		
特別賞	清水 海斗	栃木県立足利工業高等学校
佳作	西山 拓澄	東京学芸大学附属国際中等教育学校
佳作	金城 隆斗	成蹊高等学校
佳作	深野 斐真	群馬県立伊勢崎工業高校
佳作	田所 伶菜	栃木県立足利工業高等学校
3Dモデリング部門（応募数14件）		
佳作	河村 侑吾	愛媛県立新居浜工業高等学校
佳作	樋口 陽大	長野県岡谷工業高等学校
佳作	岡 夏希	東京都立六郷工科高等学校
佳作	上村 龍生	岐阜県立岐南工業高等学校

各賞	氏名	高校名
3Dプリンタ造形部門（応募数19件）		
優秀賞	長野 悠人	愛媛県立新居浜工業高等学校
特別賞	下田 出	長野県岡谷工業高等学校
佳作	中山 結衣、 江畑 遼祐	広尾学園高等学校
佳作	曾我 俊介	愛媛県立新居浜工業高等学校
佳作	藤田 真尋	和歌山県立和歌山工業高等学校

各賞	高校名
学校奨励賞	岐阜県立岐南工業高等学校
	東京都立六郷工科高等学校
	長野県岡谷工業高等学校
	群馬県立前橋工業高等学校
	群馬県立新田高等学校

地域貢献

体育館を有効活用し 地域のスポーツ振興に協力

昨年度、体育館に冷暖房装置が導入され、夏の猛暑の中でも快適に活動できる環境が整えられた。体育授業や部活動の



天満宮奉納少年剣道大会



学長杯バスケットボール大会

用事例を紹介する。天満宮奉納少年剣道大会（7月26日）
本学天満宮の奉納行事として始まり、今年で44回目。昨年まで武道場で開催されていたが、今年は快適かつ余裕のあるスペースで試合を行うことができた。今年は地元の宮代剣友会、杉戸西剣友

会などの小学生45名が参加。児童たちは礼儀正しく挨拶をし、大きな掛け声を出しながら元気よく日頃鍛えた技を競った。学長杯バスケットボール大会（7月29日）
定期末試験期間中の体育館の有効活用、近隣の高校への活動支援の一環として催された。初開催となる今年は連携協定校の白岡高校、蓮田松韻高校をはじめ近隣の7校が参加。総当たり形式で試合が行われ、選手たちは白熱した試合を繰り広げた。竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し「今後もこの快適な環境を活かし、高校のスポーツ振興に貢献していきたい」と抱負を述べた。

大学での学びが 未来の可能性を拓く

「採用を増やしたい大学ランキング19位」（全国私大2位）。毎年実施されている目録キャリアの新・就職力ランキングの項目である。学生の支援をしている中で、「内定報告」はもうろん嬉しいが、こうしたランキングを通じて送り出した学生の活躍を知ると、誇らしいと共に、納得のいく進路選択を支援できなことにホッと安堵する気持ちもある。

就職支援課で実施している学生との個別面談では、「美工学」の考えに基づき、低学年から

チーム作業や実験・実習を経験する。これが企業に好評なのだ。納期があり、一つの目標に向かって他者との協業に取り組み中で、人間関係や技術力不足に悩み、失敗し、それでもなんとか納期までに仕上げ提出する。こうした経験を通じて、状況に応じた対応力やストレス耐性を自然に身に付けることができるため、企業にとっては仕事への再現性が高いと感じていただけている。良い成績を残せていればもちろんプラスの評価となるが、企業が見ているのはその「過程」であり、物事を成し遂げるまでにその人



自身が選択した授業に真摯に取り組む、大いに失敗や試行錯誤をしてみたいと思う。今回紹介した目録キャリア新・就職力ランキングの地域別ランキングにおいて本学は「行動力・コミュニケーション能力・知力思考力・成長力」でいずれもトップ10以内にランクインしている。卒業生たちが、大学での学びが実社会で役立つことを証明してくれている。



福島県「R7大学生の力を活用した集落復興支援事業」参加

学生環境推進委員会が福島県から受託した掲題事業（只見町黒谷地区を対象とした実態調査）の今年度2回目となる現地訪問を9月16日～18日にかけて実施した。

現地では集落の奥地に出向き、住民の方々に直接インタビューするとともに、只見町の図書館長や行政担当者や集落の課題等について幅広く意見交換を行った。今年度の目的として

いる地域の方々との良好な関係構築に向け好スタートを切った。



住民からヒアリングを行う学生

日本塑性加工学会 優秀論文講演奨励賞

5月に姫路で開催された日本塑性加工学会の春季講演会で、機械システム工学専攻博士前期課程1年（瀧澤研究室）の藤沼輝さんが、優秀論文講演奨励賞を受賞した。受賞論文名は「異方性主軸と主応力軸が異なる二軸バールジ試験の数値解析的検証」。大ひずみ域まで測定可能な二軸バールジ試験において、主応力軸と異方性主軸が異なる場合でも、適切に二軸応力が測定可能かどうかという課題に対し、有限要素解析を用いて検証を行った。その結果、二軸バールジ試験の適用範囲が拡張され、材料の延性限界ひ



ずみまでの包括的な降伏曲面の情報が得られる可能性が示された。受賞にあたり藤沼さんは「栄誉ある賞を賜り大変光栄に思う。今後も慢心することなく、より一層丁寧な研究活動に取り組みたい」と述べた。

品質工学研究発表大会 品質工学会長賞

機械システム工学専攻博士前期課程2年（二ノ宮研究室）の岡安賢也さんの研究が、7月3日・4日に開催された品質工学研究発表大会にて品質工学会長賞を受賞した。受賞研究名は「砥石接触音のMT法解析によるダイヤモンド砥石のツル―イング良否判定」。国内外で労働人口の減少が深刻化し、生産現場の自動化は喫緊の課題となっている。聴覚心理に基づく音の周波数解析を活用した新技術を評価いただき、励みとなった」と述べた。



岡安さんは「産学連携の研究を先輩方から受け継ぎ、成果としてまとめることができた。聴覚心理に基づく音の周波数解析を活用した新技術を評価いただき、励みとなった」と述べた。

電子情報通信学会 学生年間優秀発表賞

電子情報メディア工学（平栗研究室）の青山幸専攻博士前期課程2年 瑠さんが、7月4日に開催された電子情報通信学会通信品質研究会にて「学生年間優秀発表賞」を受賞した。本賞は年間を通じて選ばれた優秀発表者のうち最も優れた発表をした学生に贈られる。受賞対象となった研究では、波源分布および波源推定アルゴリズムを活用し、ドローンが自律的に最適な通信エリアを推定しながら飛行する制御技術を提案している。これにより通信品質の向上や効率的なネットワーク運用が期待され、災害時

選ばれた優秀発表者のうち最も優れた発表をした学生に贈られる。受賞対象となった研究では、波源分布および波源推定アルゴリズムを活用し、ドローンが自律的に最適な通信エリアを推定しながら飛行する制御技術を提案している。これにより通信品質の向上や効率的なネットワーク運用が期待され、災害時

日工大川柳表彰式

大学や学生生活への想い ユニークな視点で表現

7月9日に、「令和7年度日工大川柳春季の部」表彰式が開催された。この「日工大川柳」は、大学や学生生活への想いを、自由に表現する事を目的に、学生生活向上委員会が、コロナ禍以降実施している企画である。表彰式には、学長や学生自治会各委員会委員長が出席し、受賞者への豪

7月9日、学生環境推進委員会による利根川強化堤防防森づくりボランティア活動への学長表彰式が行われた。今年の全国植樹祭で委員会の森林育成活動が評価され、埼玉県知事から表彰されたことを受け、学内でもその功績を称え表彰された。式では、植樹祭に代表として招かれた前委員長・赤澤颯さん（建築学科4年）が竹内学長から表彰状を受け取り、活動報告。続いて現委員長・今井ありさん（建築学科3年）が、後継として取り組む植物育成プロジェクトを紹介した。7月11日には、委員と竹内学長の昼食会が開催された。和やかな雰囲気の中で、竹内学長からこれまで活動に尽力してきた歴代委員と現役学生に労いの言葉が述べられた。

学生環境推進委員会 学長から表彰

2025夏祭り 14年ぶりに学生神輿が巡行



今年の夏祭りは8月3日・4日に実施。学生サークルが運営する露店、各種イベント、音楽ライブなどが催され、近隣からも家族連れなど多くの人が訪れた。

今年のメインは14年ぶりに復活した学生神輿の巡行である。神輿



は金色の屋根と胴が輝き、照明によりライトアップされ神々しい風格を漂わせていた。学生たちは威勢よく掛け声をかけながら5号館前からグラウンドまで巡行した。この神輿は8月24日に実施された宮代町民まつりにも参加した。



学長賞
黒髪が日に日に増える 三年生
学生支援部長賞
ドーナツ 糸で吊るすといとお菓子
中央執行委員会賞
値上げして 友達の飯 ライスだけ
学生生活向上委員会賞
散らかった 部屋こそ4年のアルバムか



日本塑性加工学会 フェロー認定

機械工学科の瀧澤英男 季講演会贈賞式にて日本塑性加工学会フェローの称号を授与された。フェローは、塑性加工分野の研究・開発・教育・指導に顕著な貢献をした者に与えられる称号である。

国家技能検定試験 学生2名が合格

8月29日、中央職業能力開発協会主催の国家技能検定試験合格発表が行われ、機械加工職種・普通旋盤3級に機械工学科3年の神長翔太さんと原澤翔太さんが挑戦し、見事合格した。この検定は、課題を制限時間内に製作する実技試験と、機械工学の知識を問う学科試験で構成されており、合格には一定基準の技能と専門知識が求められる。春休みから準備を開始し、4月以降は忙しい授業の合間に試験対策として課題製作練習と模擬試験を重ねてきた。挑戦を通じて身につけた「自ら考え行動する力」は、今後の学生生活や卒業研究でも発揮されると期待される。



（左より）神長翔太さんと原澤翔太さん
この検定は、課題を制限時間内に製作する実技試験と、機械工学の知識を問う学科試験で構成されており、合格には一定基準の技能と専門知識が求められる。春休みから準備を開始し、4月以降は忙しい授業の合間に試験対策として課題製作練習と模擬試験を重ねてきた。挑戦を通じて身につけた「自ら考え行動する力」は、今後の学生生活や卒業研究でも発揮されると期待される。

工友会海外中国支部を設置

（社）日本工業大学工友会は本学の同窓会組織として活動しており、全国に地域支部を設置している。この度「海外中国支部」が設置された。9月21日、第一回総会が5号館で開催された。

柳澤理事長、竹内学長、会員相互の親睦及び情報交換、本学発展への支援であることが紹介された。また今後の活動方針として、中国関連情報の大学への提供、中国企業の紹介や仲介、留学生募集支援などを行っていくことが示された。



南極観測隊の体験や 極地での生活を紹介

や心構えなどについて語った。参加者は、未知の世界の体験談とあって興味深く耳を傾けていた。



教員がテーマに沿ってトークを行うLCセンターの催し。7月17日の20回目はロボティクス学科の山縣広和准教授が担当し、南極地域観測隊として活動してきたリアルな体験談を熱く、ユーモアを交えながら語った。学生、教職員71名が参加した。山縣准教授は過酷な極地環境における水中探査ロボットの研究、現地での生活のほか、観測隊の参加方法

宮代町より
256号
みやしろ芸術祭を
開催します
11月の期間中、進修館や図書館などで音楽や踊り等の発表会をはじめ、絵画・工芸等の作品展、華道展、アートワークショップなど多彩な催しをお楽しみいただけます。
さらに、11月23日には進修館大ホールを会場に、音楽ライブを開催。日本工業大学放送研究部の協力により、音響や照明も本格的に演出されます。
世代を超えて楽しめる「みやしろ芸術祭」に、ぜひ足をお運びください。
お問合せ 教育推進課生涯学習室 0480-341111